

## 2025年度 福和協同アカデミー 学校評価・自己点検

【評価方法】 各項目の評価は、以下の分類とし、評価欄に記号を記入してください。

- A: 十分に達成されている。
- B: ほぼ達成されているが、不十分なところがあり改善に取り組んでいる。
- C: 達成に向けて努力している。
- D: 達成されていない。／必要性に気づいていなかった。
- X: 該当しない、又は評価不能な項目である。

### 1 教育理念(理念、目標、育成する人材像)

#### <理念>

学生および教員が自律心を持ち、実行力を身につける。自らの役割を見直し、考え、周りの人々と協力する。その人々と同じ志を共有し、共生する。それが、社会への貢献につながる。

#### <目標>

- ①学生の希望に沿った進学先を決定し、進学率100%を目指す。
- ②5つの言語活動の到達レベルを意識し、社会で通用する生きた日本語力を育成する。
- ③地域交流活動を通じて多様な文化を理解し、日本および国際社会での共生につなげる。

#### <育成する人材像>

グローバルな視野を持ち、共生社会に貢献できる人材を育成することを目標とする。

1-1	上記教育理念が社会のニーズに合致している。	A
1-2	上記教育理念が教員および学生に周知されている。	A

### 2 学校管理運営

2-1	認定日本語教育機関の基準に適合している。	A
2-2	運営方針と経営目標が明確化し、教員に周知されている。	A
2-3	管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営が行われている。	A
2-4	意思の決定が組織的に行われ、かつ効率的に機能している。	A
2-5	入学希望者に対して、理解できる言語で情報提供されている。	B
2-6	生活指導責任者と入管事務担当者が教員および学生に周知されている。	A
2-7	情報システム化等による業務の効率化が図られている。	B
2-8	緊急時の対応や学校全体連絡網などの危機管理体制が整備されている。	A

### 3 教育活動の計画

3-1	各課程に合わせた年間コースデザインとシラバスを作成し、教員および学生に周知されている。	A
3-2	入学時の日本語力をふまえて、適切な到達レベル設定と学習時間の確保が行われている。	A
3-3	教育目標に沿ったカリキュラムの編成、実施方針が策定されており、必要に応じて見直しが行われている。	A
3-4	カリキュラムに沿った教科書および教材が選定されている。	A
3-5	教育内容および指導方法を明確にし、教員および学生に周知されている。	A
3-6	教員の能力や経験に応じて、適切に教員が配置されている。	A
3-7	授業報告を記録し、教員間で情報共有するシステムが整備されている。	A
3-8	評価の結果を活用し、定期的に教育活動の見直しが行われている。	A

### 4 教育活動の実施

4-1	学生の日本語レベルを客観的に判定し、適切なクラス編成が行われている。	A
4-2	クラスの担任教員は、担当クラス学生の目標や日本語力、学歴などを把握している。	A
4-3	各教員は、作成されたカリキュラムのとおり授業を展開している。	A
4-4	学生の理解度および到達度を頻繁に確認し、把握している。	A
4-5	地域交流活動を取り入れ、地域社会とつながる機会が設けられている。	A
4-6	自律学習および協働学習を取り入れ、その効果が確認されている。	A
4-7	資格取得のための授業が開講され、取得率向上が図られている。	A

### 5 成績判定と授業評価

5-1	成績判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われている。	A
5-2	成績判定基準及び判定方法が教員および学生に周知されている。	A
5-3	成績判定結果が定期的に学生に通知されている。	A
5-4	判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。	A
5-5	日々の授業が頻繁にフィードバックされ、教え方の見直し、授業の改善へ反映されている。	A

### 6 教育活動を担う教職員

6-1	校長、主任教員、事務局長、本務等教員、非常勤教員の職務内容及および責任と権限が明確に定められている。	A
6-2	教員、職員の採用方法および雇用条件が明文化されている。	A
6-3	教員、職員の評価が適切に行われている。	A
6-4	教員および生活指導担当者に対して、学校運営や教育活動に関する報告、協議する会議が定期的実施されている。	A
6-5	教員および生活指導担当者に対して、教育指導および生活指導に関する研修が定期的実施されている。	A

## 7 教育成果

7-1	学生指導要領、学生指導記録、出席記録、授業記録など学生管理に関する情報が適正に管理されている。	A
7-2	入学選考結果、修了試験結果、外部試験結果など成績に関する情報が適正に管理されている。	A
7-3	課程修了時に到達目標を達成しているか確認されている。	A
7-4	卒業要件が確認され、それに合わせて卒業または終了が認められている。	A
7-5	卒業後の進路が把握されている。	X

## 8 学生支援

8-1	学生支援のための規定を定め、そのとおり実施されている。	B
8-2	日本社会を理解し、適応するための取組が行われている。	B
8-3	留学生活に関するオリエンテーションが入学直後に実施され、在籍者全員に対し定期的に何度も実施されている。	A
8-4	住居支援が行われている。	A
8-5	アルバイトに関する指導や支援が定期的に行われている。	A
8-6	健康診断や日本での生活指導体制が整っている。	A
8-7	急病、防災、防犯などの緊急時における体制が整備されている。	A
8-8	遅刻や欠席指導が行われ、出席率を維持するための体制が作られている。	A
8-9	入学直後および課程中に、学力が不十分な学生に対して、各課テストおよび定期テストの補講や再試験が行われている。	A

## 9 進路指導

9-1	進学指導担当者が特定され、常任している。	A
9-2	進学指導授業が開講され、進学率向上が図られている。	A
9-3	学生の希望、目標に沿った進学指導が行われている。	B
9-4	学生に進学に関する情報が提供されている。	B
9-5	進学率100%を目指すという目標が達成されている。	X

## 10 法令遵守

10-1	地方出入国在留管理局により認められた申請等取次者が配置されている。	A
10-2	出入国管理法に関係法令を適切に学生に伝えている。	A
10-3	適切に個人情報保護されている。	A
10-4	遅滞なく各報告が行われている。	A

## 11 教育環境

11-1	認定日本語教育機関としての施設、設備が整備されている。	A
11-2	学習向上を図るため、デジタル環境設備が整備されている。	A
11-3	教育内容及び学生数に応じた図書が整備され、常時利用可能である。	A
11-4	同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレが設置されている。	A

## 12 入学者の募集と選考

12-1	入学者の募集、選考が適切に行われている。	A
12-2	学納金等の納入金が明示されている。	A
12-3	学納金等の返還規定が定められ、学生に周知されている。	A

## 13 財務

13-1	中長期的な財務計画が策定されている。	A
13-2	中長期的な財務基盤が安定している。	A
13-3	財務情報が職員に周知されている。	A
13-4	入学者の募集、選考や生徒入学手続きにおいて、入学希望者や入学者及び経費支弁者(以下「入学希望者等」とする。以下この13財務において同じ)が仲介業者等から学納金等以外に別途費用を請求されないことを規定している。	A
13-5	上記13-4の規定が教職員、入学希望者等や仲介業者等に周知されている。	A
13-6	上記13-4が守られていることを入学希望者等や仲介業者等に確認する手段を講じている。	A
13-7	上記13-4が守られていない場合の対応が教職員に周知されている。	A

## 14 地域貢献・社会貢献

14-1	地域周辺施設との連携が取れている。	B
14-2	日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献、地域貢献が行われている。	A
14-3	ボランティア活動参加への支援が行われている。	C